資料2

調査結果の報告

目次

1．サギ類コロニーの調査結果 **2**
サギ類コロニーの調査内容と調査年度 **3**
サギ類コロニーの調査結果　1　中島地区 **4**
サギ類コロニーの調査結果　2　吉川地区 **5**
サギ類コロニーの調査結果　3　吉川地区 **6**

2．誘導手法の試行結果 **7**
誘導手法の試行・概要 **8**
誘導手法の試行結果　1　中島地区 **9**
誘導手法の試行結果　2　大吉地区（埼玉県越谷市新方川上流大吉調節池内） **10**
誘導手法別の確認された結果（2026年） **11**

3．2026年の調査等の結果の整理 **12**
2026年の調査等の結果の整理 **13**

1. サギ類コロニーの調査結果

サギ類コロニーの調査調査内容と調査年度

治水対策の推進に伴う保全対策検討のため、
サギ類コロニーの調査を実施（表1、図1）

●中島地区（2014年～）

・コロニーの形成時期調査　　飛来、飛去時期
　→水管橋上カメラ画像の判読
・繁殖状況調査　　種類、個体数、架巣数、範囲
　→現地調査による
・営巣林調査　　地先、面積、構造等
　→現地調査や画像の分析による

●吉川地区（2024年～）

・コロニーの形成時期調査　　飛来、飛去時期
　→ネットワークカメラ画像の判読
・繁殖状況調査　　種類、個体数、架巣数、範囲
　→現地調査、UAV撮影画像による判読
・繁殖期の行動観察調査　　架巣範囲外の利用状況等
　→現地調査による

表1　中川のサギ類コロニー調査の実施状況

項目	地区	実施年								
		H26	H28	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
		2014	2016	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
コロニーの形成時期調査	中島			○	○	○	○	○	○	○
	吉川							○	○	○
繁殖状況調査	中島		○	○	○	○		○		
	吉川							○※		○
営巣林調査	中島	○		○						○
	吉川									
繁殖期の行動観察調査	中島				○	○				
	吉川									○

※出入り個体数の記録のみ

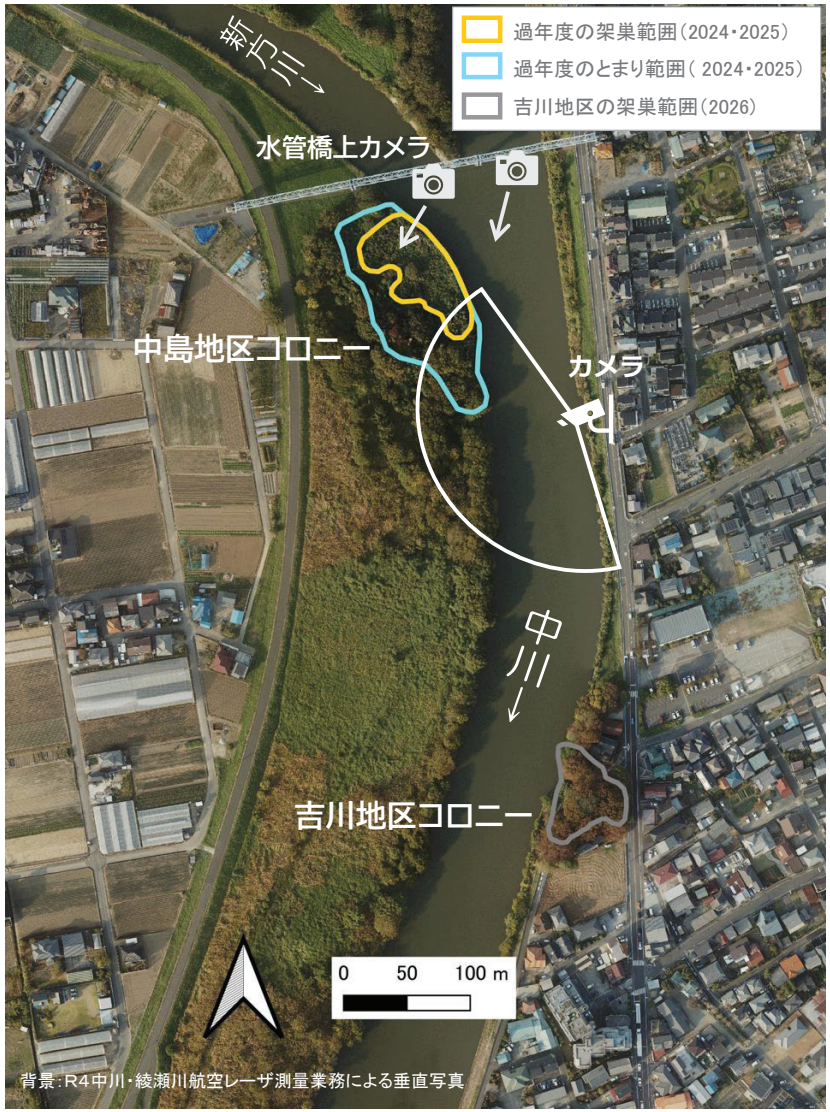


図1　中川のサギ類コロニーの位置・範囲

サギ類コロニーの調査結果１　中島地区　調査期間　2026年2月～6月

◆コロニーの形成時期調査（飛来、飛去時期）

アオサギの飛来は3月15日、シラサギ類は3月22日に確認（図3）。シラサギ類は、中島地区と吉川地区の両方をとまり利用（図2）。 サギ類は、4月25日以降中島地区をほとんど利用しなくなり、中島地区での営巣は確認できていない。

◆営巣林調査（地先、面積、構造等）

サギ類の飛来前、営巣妨害や営巣基盤である竹林の枯死などの異常は確認されなかった（図5）。

2026年7月時点で、竹林が成長し、以前確認できた古巣はカメラでは確認できなくなった（図6）。

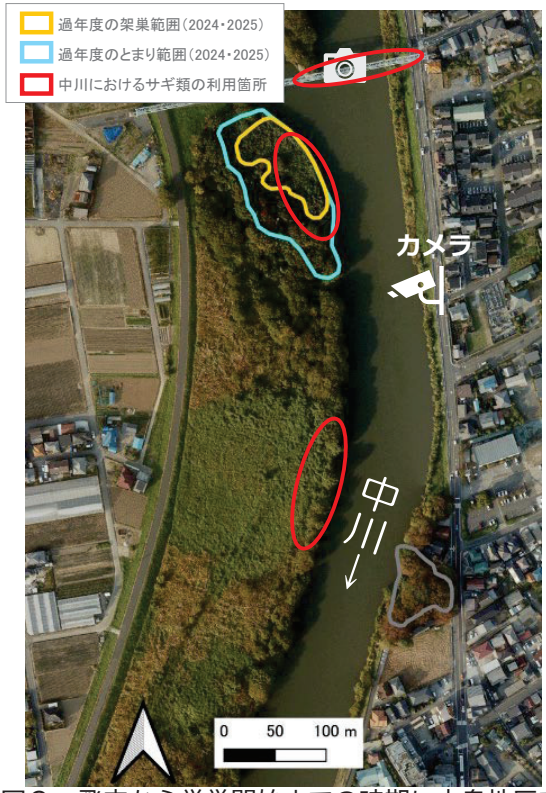


図２　飛来から営巣開始までの時期に中島地区でシラサギ類が頻繁にとまった箇所（赤丸）



図３　中島地区の下流側樹林にシラサギ類飛来（R8.3.22）



図４　シラサギ類の中島地区へのとまり（R8.4.17）



図５　シラサギ類の飛来直前の状況

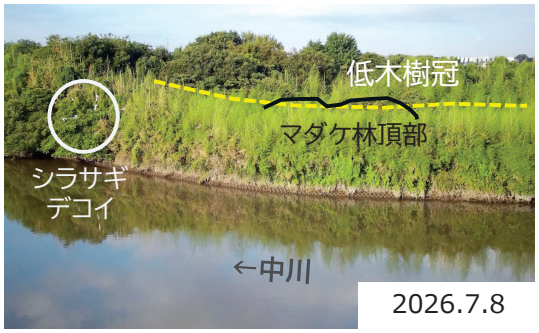


図６　中島地区の状況（7月）

サギ類コロニーの調査結果２　吉川地区　調査期間　2026年2月～継続中

◆コロニーの形成時期調査（飛来、飛去時期）

アオサギの飛来が2月2日に確認された。中島地区付近の水管橋などもとまり利用していた（図7）。

アオサギは3月7日に造巣を開始（図8）。シラサギ類は3月30日に飛来し、中島地区と行き来していたが4月22日に吉川地区で造巣を開始したと推定される（図10）。

ゴイサギは、3月27日に飛来を確認。アマサギは、5月20日に吉川地区に群れが入る様子、6月17日に営巣を確認した。

◆繁殖状況調査（種類、個体数、営巣数、範囲）

6月のUAV調査により、吉川地区に形成されたコロニーの詳細を把握。昨年までの営巣範囲を超え、面積の拡大を確認した（図11、p.6）。

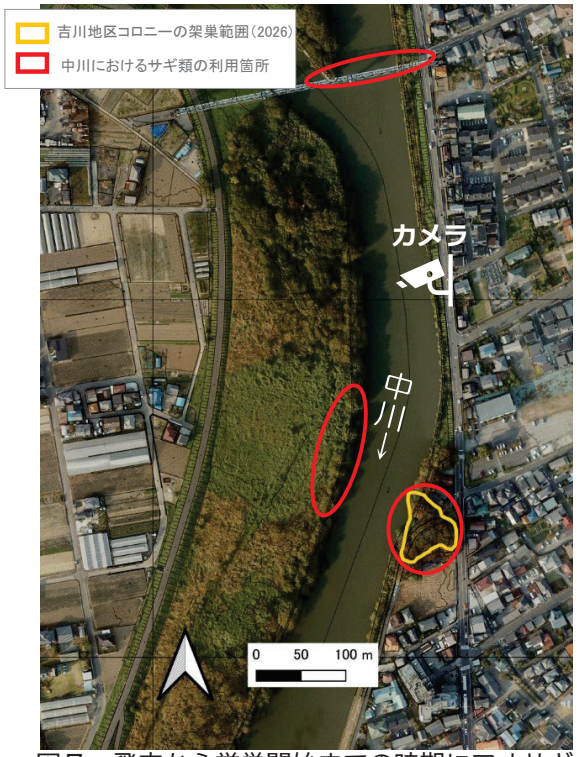


図７　飛来から営巣開始までの時期にアオサギが頻繁にとまった箇所（赤丸）



図８　市道南側樹林でアオサギが造巣（2026.3.10）

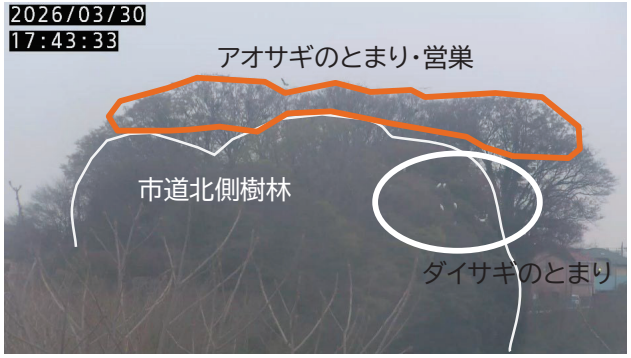


図９　ダイサギが市道北側樹林にとまる（2026.3.30）



図10　市道南側樹林にとまるシラサギ類が増加



図11　吉川地区コロニーの状況（2026.6.24撮影）

サギ類コロニーの調査結果３　吉川地区

調査日　2026年6月24日

◆繁殖状況調査　　種類、個体数、営巣数、範囲

吉川地区にコロニーの形成されたことを受け、徳永委員にご指導いただき、UAVによる吉川地区の撮影調査を実施。

撮影画像の判読により、2026年6月のサギ類の個体数は約930個体。

過年度と同様、6種のサギ類の営巣を確認（表2）。2022年の調査結果と同等の数をカウントしている（表3）。

◆繁殖期の行動観察調査

吉川地区では架巣範囲の拡大を確認（図12、黄色囲み）。



図12　吉川地区コロニーの状況（2026.6.24撮影）

表２　吉川地区で確認したサギ類

種名	
アマサギ	シラサギ類
ダイサギ	
チュウサギ	
コサギ	
ゴイサギ	
アオサギ	

表3　6月下旬の個体数の比較（羽）

	2022	2023	2024	2025	2026
中島	946	812	524	643	0
吉川	-	-	-	-	933

R4-7は6/20～6/30の期間中の3回のトレイルカメラ画像判読結果の平均値

2. 誘導手法の試行結果

誘導手法の試行・概要

代替地へのコロニー形成にむけて、サギ類の誘導手法の具体の技術の実証や向上のため、デコイや人工巣、古巣を使った誘導手法の試行を実施。

●越谷市中島地区（2024～）
・サギ類の飛来・営巣につながる技術の試行（図14）
　→デコイの設置、人工巣の設置
　→カメラ画像による利用状況等の確認

●越谷市大吉地区（2025～）
・サギ類の飛来、営巣につながる技術の試行（図15）
　→デコイの設置、古巣・人工巣の設置
　→カメラ画像による利用状況等の確認



図14　誘導手法の試行の実施内容（中島地区）



図13　中川のサギ類コロニーと代替候補地の位置

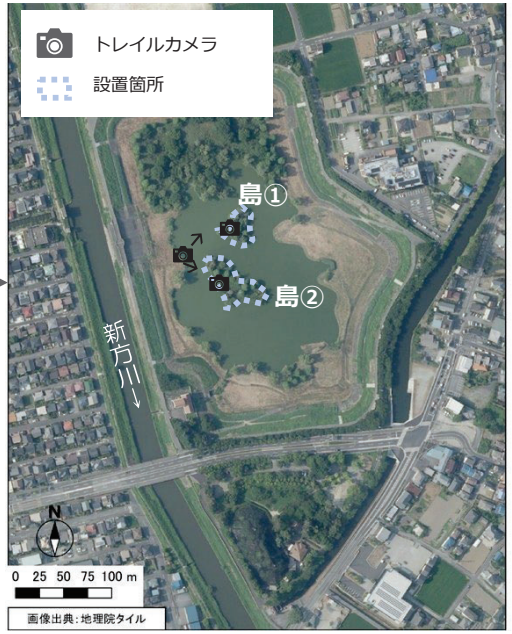


図15　誘導手法の試行の実施内容（大吉地区）

誘導手法の試行結果　1　中島地区　設置期間　2026年3月～7月

- シラサギ類の飛来直後の3月29日から5月5日まで、デコイ付近へのダイサギ、コサギの接近を確認した（図17、18）。
- 架巣範囲やその付近のとまり利用やねぐら利用は確認したが、中島地区での営巣は確認されなかった。

【設置物】

デコイ	人工巣	自動撮影カメラ
シラサギ型 簡易デコイ（30体）	竹かご式（2基）	ネットワークカメラ（1台） IoT対応トレイルカメラ（1台）

【設置時期】
2026年3月24日　～　7月22日
※トレイルカメラは、出水の影響を受ける恐れがあったため6月2日に回収

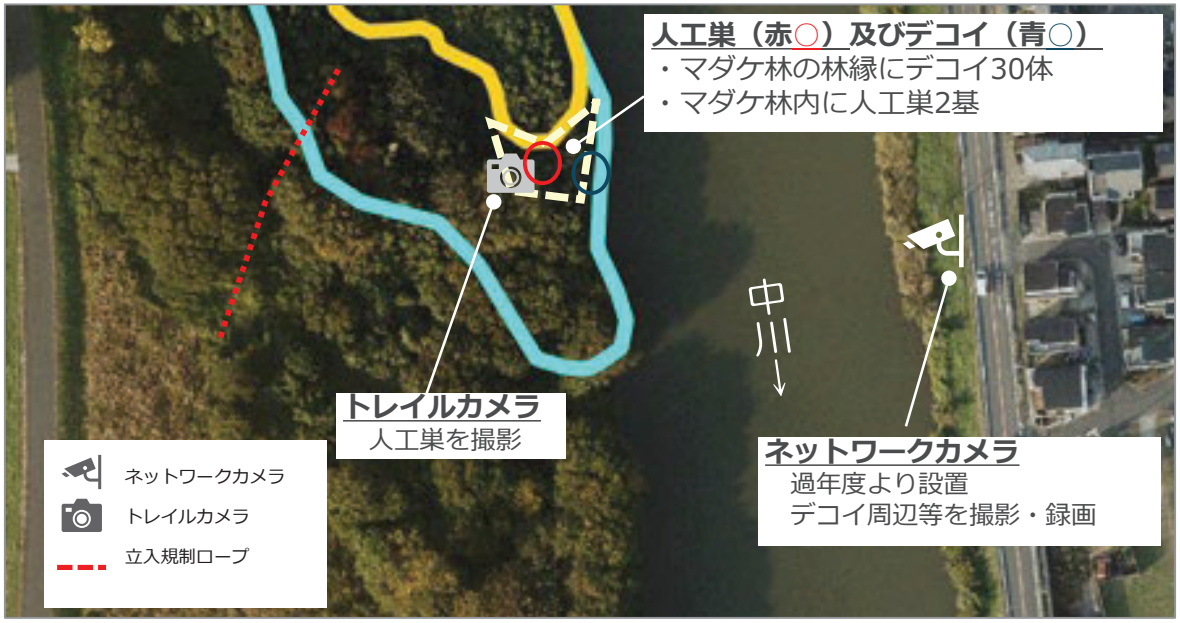


図16　中川における試行の実施内容



図17　シラサギ類がデコイに接近する様子①



図18　シラサギ類がデコイに接近する様子②

誘導手法の試行結果　2　大吉地区　設置期間　2026年1月～7月

- 古巣に「アオサギが接近してとまる」、「近くの高木でねぐらをとる」などの反応があったが、営巣は確認されなかった。
- この地区では、デコイへの反応は確認できなかった。

【設置物】

デコイ	古巣・人工巣	自動撮影カメラ
シラサギ型簡易デコイ(30体×2) →各中の島に追加設置	・サギ類の古巣(8個) →メタセコイアに設置 ・古巣(2個)、竹かご式人工巣(10基) →ポール上に設置	・ラズパイシステム(2台) →各中の島に設置 ・IoT対応トレイルカメラ(2台)→池畔に設置

【設置時期】
2026年1月28日　～　7月7日
※2026年3月25日にデコイを追加設置。カメラ一式は、出水のの影響を受ける恐れがあったため6月2日に回収



図19　誘導対策の試行のための設置計画(案)

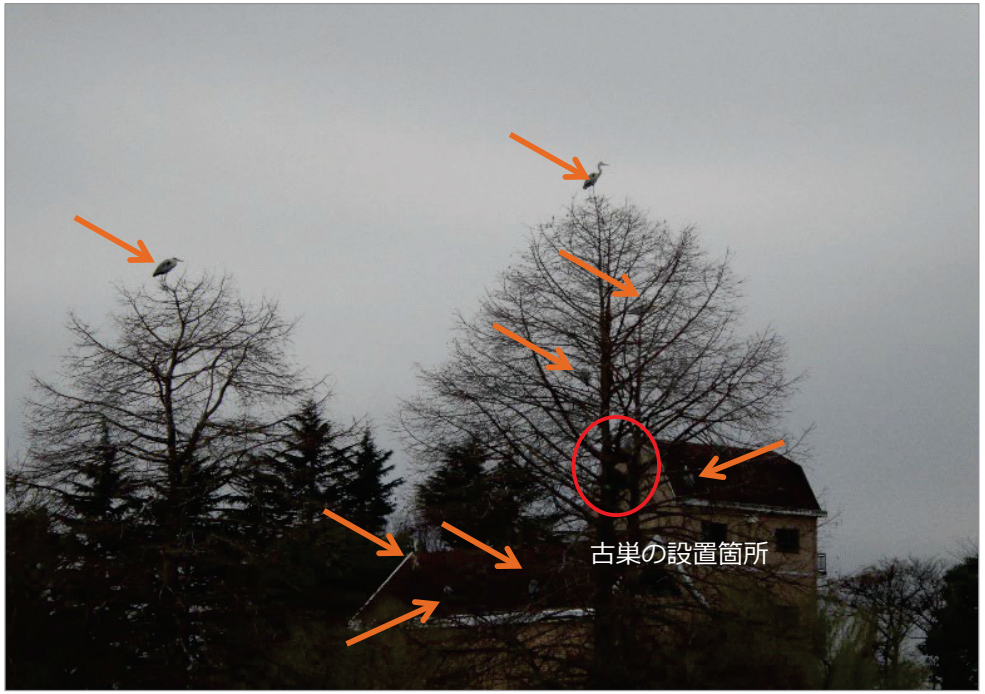


図20　アオサギの群れが古巣に接近する様子（2026.3.2）

誘導手法別の確認された結果（2026年）

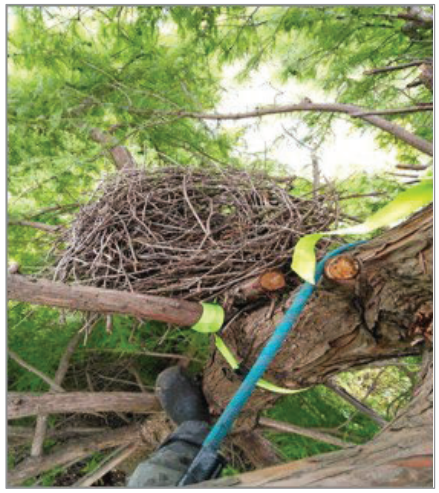
【中島地区】

- 簡易デコイ(シラサギ類を模したポリ袋製）： 誘引効果あり。付近へのとまり、ねぐら利用を確認したが、営巣に至らず。
- 竹林内の人工巣(竹かご式人工巣）： 反応は確認されなかった。

【大吉地区】

- サギ類の古巣(高木に設置）： 誘引効果はある。付近へのとまりを確認したが、営巣には至らなかった。
- 人工巣(竹かご式人工巣）： 直接の反応は確認されなかった。
- 簡易デコイ(シラサギ類を模したポリ袋製）： 大吉地区ではサギ類の反応なし。

表４　誘導手法の試行として設置した物

デコイの設置状況（中島地区）	人工巣の設置状況（中島地区）	古巣の設置状況（大吉地区）
		

3. 2026年の調査等の結果から

2026年の調査等の結果から

- 中島地区に直接インパクトを与える可能性がある治水工事をする前に、サギ類のコロニーはなくなった。
- 中島地区から距離として約300m離れた、吉川地区のコロニーが拡大した。
- 設置したデコイでは、営巣につながらなかった。
- 吉川地区の「ケヤキ」は樹高約20mの高木であり、冬季よりサギ類の古巣が残っていた（図21）。

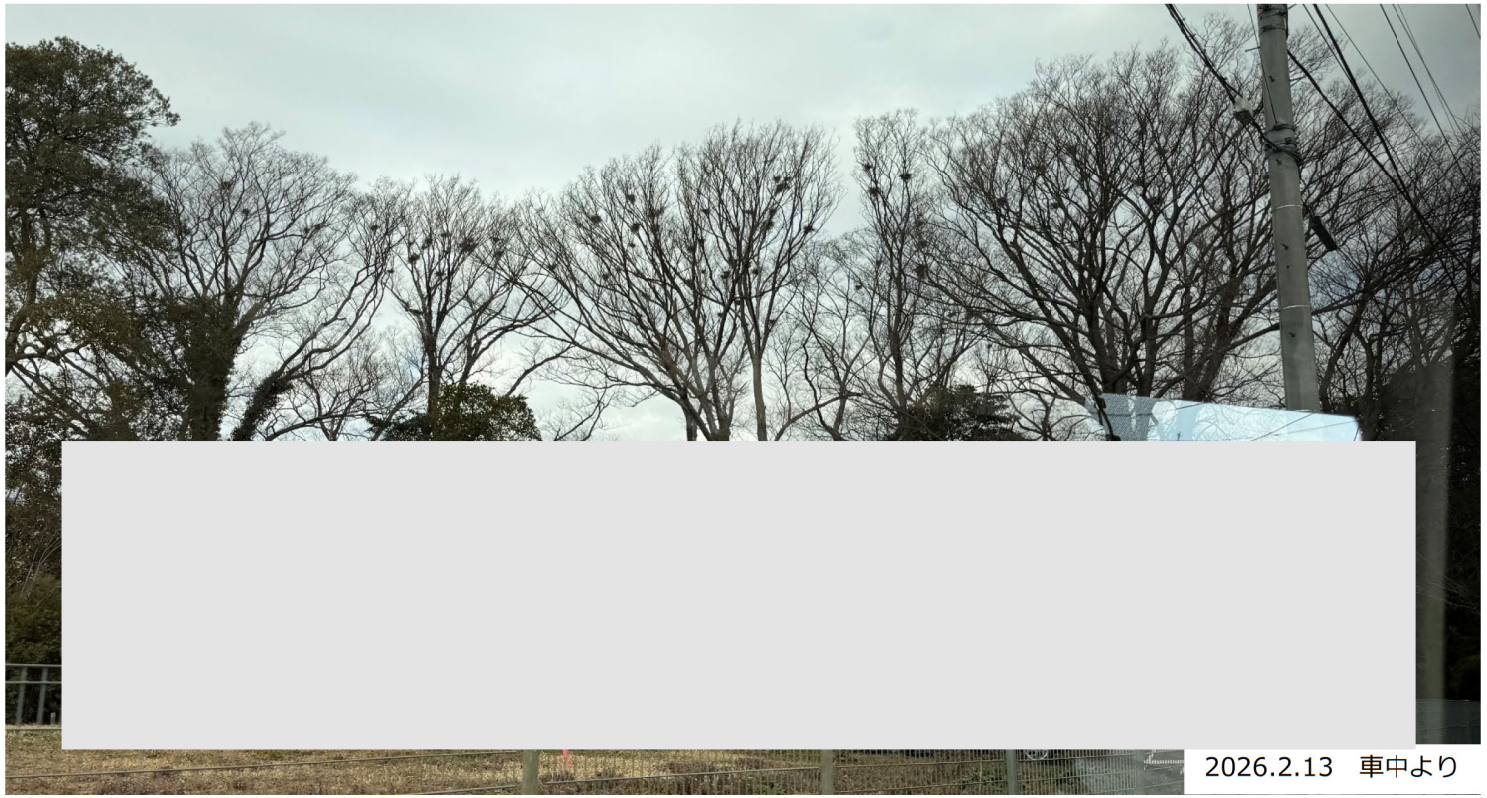


図21　落葉期の吉川地区コロニーの様子